

# ナプロアース社長通信\_第 15 回

夏の暑さも少しは和らぎ、秋を感じられるようになりました。仕事もしやすくなりましたが、夏の疲れが出る時期でもあります。健康には十分留意してください。さて、今日のテーマは「学ぶ」です。

最初に苦言を呈しておきますが、最近行われている研修や講習会で、後方に座っている方々が居眠りしているシーンに出くわしました。これは、研修や講習会が会社から義務化された業務の一部だと感じているので、やらされている意識が勝り、居眠りをしてしまう人がいるのかもしれませんが、しかし、自分が教える立場だとして、受講者が寝ていたらどう感じるのでしょうか？ひとりの社会人として、相手を不快にする行為はやめておきましょう。

話を元に戻しますが、学校を卒業し数年経過すると、自ら率先して「学ぶ」という意識が薄れてきていると思います。それを理解したうえで、当社では外部研修の実施や資格取得の応援などを推進しています。これは誰のためになるのか、深く理解して賛同してもらいたいと願っています。

学ぶうえで肝心なのは、知識のインプットと合わせて「アウトプット」も並行して行うことだと思います。これは講習会で聞いたことや、その中で分からない部分を自ら調べたりして知り得た知識を、文章にまとめたり、人に話したりすることで、自分が本当に理解できているかを確認することができます。スムーズに書いたり話したりできなければ、それは理解していないということと同じです。もちろん、書くことや話すことによって、情報を整理できますし、自分の盲点も明確になるでしょう。そうしたら、ふたたび調査と学習に戻って、足りない部分を補っていく。

『使わない知識は身に付かない』という事は、みなさんはすでに理解していると思います。学んだら、すぐに使っていくという繰り返しこそが、知識を高めるのには効果的であり、このサイクルを作ることによって学習効果は上昇していくという事を、私が学んだ人生の教訓として伝えておきます。

また、資格取得の意図は、学んだ事を正しく身に付けたどうかを他人に評価してもらう点です。我流や独学で得た知識はたいてい間違っている事が多いからです。経営計画発表会でも伝えましたが、今期から立場に応じた資格取得が昇格／降格の基準としました。特に危険物取扱者乙四種はガソリンを扱う当社では全員が必須資格とさせてもらいました。「取らなければならない」と自らを奮い立たせて合格してください。もちろん、取得した資格は消えることのない自らの成長の足跡となります。

成長に関してもう少し詳しく説明しておく、『成長とは「長けた仕事」を超え、「豊かな仕事」をするようになることである』とされています。技術的な成長は、いわば「長けた仕事」を生み出します。技術的な成長の観点では、ものごとの処理の「上手か／下手か」が問題になります。しかし、人は技術的な成長だけではほんとうに次元の高い仕事はできません。もう一方の精神的な成長が必要不可欠となり、「豊かな仕事」ができるようになります。その精神的な成長を促す要素が「学び」であると私は思っています。

学びを通して自分の経験を振り返り、学びによって経験を再構成し、自分なりに学びの意味を付け足していく…そんな人生であって欲しいものです。

平成 30 年 8 月吉日 池本 篤